



ふるさと 水戸



「あい」のある学校・地域 つながれ水戸っ子

学ぶ力を高めるために

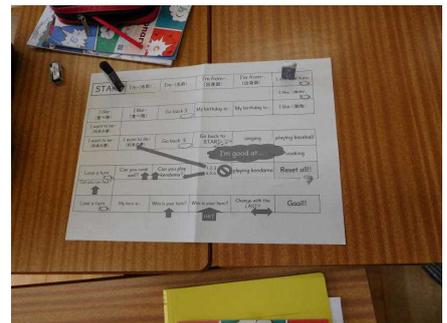
～仲間とつながり学びを高めます～



滋賀県では、学ぶ力向上滋賀プランとして、「学びを実感できる授業づくり」、「学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり」、「子どものために一丸となって取り組む学校づくり」の3つの視点から「学ぶ力」の向上の取組を進めています。水戸小学校でも、目標である「活動中は仲間の考えを受け止め、自分の考えをもち伝える力」の育成を目指し確かな学力をつける中で、自尊心の高まりにつなげる取組を進めています。中でも、話し合い活動の充実を大切に、つながった話し合い、そこからの学び合いを行っています。それぞれの学年に応じた取組をしています。

外国語の授業で

2020年4月の学習指導要領より、小学校で教科としての外国語科の導入が始まりました。5,6年生で外国語科、3,4年生で外国語活動として実施します。水戸小では、英語の専科指導として下田小在籍の原田先生に担当していただいています。5年生の授業で、「What sport (color など) do you like?」という発問からのやりとりの会話の授業を子どもたちがお互いにしていましたが、発音も上手で生き生きと話していました。「I like baseball.」私も、参加していました。また、6年生の授業では、サイコロを使ったゲーム形式で学んだことの復習を行っていました。グループで学び合う姿が楽しそうでした。小学校でここまで学んでいるんだと確認できました。



1年生、水戸っ子への道

水戸小に入学して1か月あまりが過ぎました。1年生の子どもたちは、着実に「水戸っ子」への道を歩んでいます。入学間もない時期は、クラスのみならず校舎見学をしていましたが、先日は、一人ひとりが、自分で考えて、そして、クラスの仲間と力を合わせてスタンプラリーを行っていました。校長室もスタンプのポイントになっていたのですが、たくさん子どもたちが一度に来て、並んでスタンプを押す場面もあれば、場所を探していた友達に声をかけて、「ここが校長室やで!」と案内してきてくれた子もいました。

さらには、「わたし、配膳室の場所知ってるから」と友達を案内していく場面もありました。こうした、お互いの関わりの中から、自分で考えて行動することや学びを高めることにつながっていきます。これからもたくさんの学びを積み重ねていきましょう。水戸っ子として着実な成長をしています。

校長室でもスタンプ→

第1回CS理事会

コミュニティスクールとなって4年目を迎える水戸小学校ですが、今年度の第1回理事会を5月12日(木)に開催しました。理事の皆様の確認のもと今年度の学校経営管理計画が承認され、この後、まちづくり委員会、ふるさと委員会をもとにして活動が行われていきます。



コミュニティスクールとは、学校と地域がパートナーとして連携・協働するために、どのような子どもたちを育てるのか、何を現実していくのかという目標やビジョンを地域住民・保護者と共有し、地域と一体となって子どもたちを育て、「地域とともにある学校」として創意工夫を生かした特色ある学校づくりを進めていくものです。水戸小学校では、『ふるさと水戸』を校訓に、「あい」のある学校・地域つなぐれ水戸っ子をキャッチフレーズとして取り組んでいます。今年度もよろしく願います。

学び合い高め合う授業

グループで、一人一人がゲーム形式で発音して、わかったところを板書して、いろいろな学びのスタイルがありますが、子どもたちは意欲的に取り組んでいます。仲間の考えを聴く、自分の考えを伝える、仲間とともに学び合う。毎日の積み重ねが大切です。



グループで花の種の観察

ALTの先生とゲーム形式で



わかったところを板書

そして、家庭での学習が習慣になるとさらに力がつきます。毎日机に向かう。帰ってから学習する習慣をつけていきましょう。



水戸に吹く風

「小学校はどうですか?」、「もう慣れましたか?!」これまでも現場で仕事をしてきた先生方に聞かれることがあります。「中学校とは文化が違うかな」と言われることも。ですが、自分の感覚としてそこまでの違和感なく毎日を過ごしているのが現実です。そして、年齢は違っても、同じ子どもたち。ましてや小学生。かわいくて仕方ありません。水戸小学校で大きく育ってくださることを願っています。今週からは、学校訪問や学習参観が続きます。熱心な先生方や元気な子どもたちの日頃の様子をご覧いただきたいと思っています。(山田)

